



ものづくりマイスターの派遣授業を
生徒たちの将来のために積極的に活用し
地域産業の若きエンジニアを目指す
香川県立三豊工業高等学校。



校訓「**三上錬磨をモットーに**
三豊工業高校が目指す
キャリア教育!」

「事上錬磨」とは「人間は毎日の生活や仕事を通して自分を磨き、修行を積まなければならない」という教えで、この校訓を中心に確かな学力の育成・健全な心身の育成・社会貢献力の育成の3つの教育方針を定め、

ものづくりスペシャリストの育成に組んでいる。昭和37年創立以来、次代が求める工業分野の中堅技能者の育成と専門高校ならではの特徴を活かした教育活動を展開。また、技能検定などのライセンス取得や熟練技能者による技能講習など、人材育成に積極

電気機器の構造や制御の仕組みなど幅広い分野を学び、電気の技能スペシャリストを育成。

電気科



電子科

コンピュータを駆使した電子制御・電子回路の設計・製作の基礎から応用までを習得。



機械科

工業製品の製造に欠かせない旋盤やフライス盤などの機械加工の実践的な技能を習得。

的に取組み地域産業の将来を担う技能者を数多く輩出してきた。昨年は創立50周年の節目を迎え、さらなる技と心の継承を実践している。



ものづくり日本大賞 (青少年支援部門) 「文部科学大臣賞」受賞!

全国レベルのロボット競技大会優勝や全国発明くふう展で恩賜記念賞受賞など、目覚ましい成果が認められた受賞です。

ものづくりマイスターを招いて 機械科の普通旋盤技能の実習!



ものづくりマイスター
森岡 勇さん

それぞれのヤル気を活かす指導を心掛けています。」と説明した。実習では生徒ひとり一人の作業チェックをし、実践的な技能を教えている。「生徒それぞれの欠点を指摘・認識させ、自分なりの改善点を考えさせて、自主性・創造性を養っていきます。」と森岡さん。今後は検定2級にも挑戦する指導も考えている石川科長は「いままでの経験で技能レベルが高くなるほど生徒の自主性や向上心も高まり、また人間形成にも大きく影響するので、大切に見守りたい。」と熱く語った。

中小企業や工業高校などの要請に応じて各専門職種のものづくりマイスターを派遣して、技能検定大会の競技課題等を活用しながら、広く若年技能者に実技指導を行い、効果的で実践的な技能の継承や後継者の人材育成を実施します。



(機械科科長)
石川 英俊さん



香川県立三豊工業高等学校

観音寺市大野原町大野原5537
TEL0875-52-3011 (代表)